

# 第 35 回 全 国 研 究 大 会

in オンライン (Zoom)

開催日

【開催要項】

2022(令和4)年1月29日(土)、30日(日)

本大会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、すべてオンラインで開催します。

大会テーマ

## コロナ禍で ASW は何を問われているのか ～オンラインで学び、つながろう～

### ASW 全国研究大会に寄せて

会員の皆様、そして ASW の活動に関心をお持ちの皆様に、今年度の ASW 全国研究大会のお知らせをお送りいたします。昨年度はコロナ禍のために、予定されていた大会が開催できませんでしたので、開催は2年ぶりになります。そして今年度は、本協会としては初めてのインターネットを通じての全国研究大会となります。

このコロナの猛威の期間、皆様の身近でも様々な苦しみや悲しみ、恐れや戸惑いがあり、その一方、新たな試みや発見もあったと思いますので、大会の 2 日間、皆様で存分に語り合しましょう。

ネットのメリットは移動せずに、居ながらにして全国の仲間たちと交流できることです。今回はそれを生かし、アメリカからの参加もお願いしています。

未だにこの災いが、いつ、どのような形で落ち着くのかは見通しが立ちませんが、いつかは、この問題も過去になり、歴史になるのだと思います。その時には、私たちは確実にもう一回りの成長を遂げているでしょう。この大会もその貴重な 1 ページになるのだと思っています。

一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会  
会長 岡崎 直人

### オンラインでつながりましょう！

当協会の全国研究大会は1986年から毎年開催してきましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、開催の中止を余儀なくされました。その後の理事会において、未だ収束の見通しが立たない状況が続く中、今後の全国研究大会の開催をどうすべきかを協議しました。当協会としては、会員、さらにはアディクション分野に関心をお持ちの非会員の方々の学びを止めてはいけないうらうと考え、今年度はオンラインによる全国研究大会を開催することになりました。

そして、西日本地域の理事等で結成された実行委員において大会の内容等を検討し、今大会のテーマを「コロナ禍でASWは何を問われているのか～オンラインで学び、つながろう～」としました。講演会や分科会を通じて、コロナ禍での私たちの経験を振り返り、今、私たちが求められている役割とは何かを参加される皆様と共に考える機会にしたいと思います。

オンライン開催のため画面越しになりますが、より多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会  
第35回全国研究大会 大会長 河佐 勉

主催 一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会

後援 公益社団法人 日本社会福祉士会 / 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 / 公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会 / 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会 (以上、申請中)

## 【プログラム】

1月29日(土)

12:20 受付開始  
12:50 開会式(大会長挨拶・注意事項説明)  
13:00~14:45 特別講演(名誉会員就任記念講演)  
15:00~16:30 基調講演  
17:00~18:30 ズーム de 交流会(16:50~受付開始)

1月30日(日)

9:00~12:00 分科会1(8:30~受付開始)  
13:00~16:00 分科会2、分科会3  
(12:30~分科会2、分科会3受付開始)

※ASW 協会会員限定先着100名

### 【特別講演(名誉会員就任記念講演)】 1月29日(土)13:00~14:45

#### アディクションと私 ~アルコール関連問題と出会ったソーシャルワーカーの物語~

2021年度に当協会の名誉会員に就任された西川京子さんから、アルコール関連問題との出会いや家族支援に取り組みきっかけなどソーシャルワーカーとしての経験をお話いただき、アディクション領域に携わるソーシャルワーカーの課題についてご講演いただきます。後半は西川さんと縁の深い方々とのトークセッションを行います。当時のエピソードを交えて、回復を信じる想いやソーシャルワーカーのやりがいなどについて一緒に考えていきましょう。

<コーディネーター>

大本 淳 (八木植松クリニック) / 河佐 勉 (名古屋保護観察所)

<講師>

西川 京子さん (ASW協会名誉会員 / 野ばらの会 相談室)

<スピーカー>

坂本 満さん (特定非営利活動法人いちごの会)

橋本 直子さん (関西学院大学)

<ファシリテーター>

河佐 勉 (名古屋保護観察所)

### 【基調講演】 1月29日(土)15:00~16:30

#### 自己責任論でいいの？ 排除と貧困に抗うソーシャルアクション

2020年来のコロナ禍は、女性や若者等の貧困問題を可視化させました。また子どもや若者、女性の自死の増加など孤立と分断が進行しました。長年、住居支援を中心に生活困窮者支援に取り組んできた稲葉剛さんより、コロナ禍での生活困難者への支援活動の実態を報告していただくとともにすべての人に健康で安全な生活が確保されるため必要な政策・施策とそれを実現するソーシャルアクションについて共に考えていきましょう。

<コーディネーター>

谷口 伊三美 (特定非営利活動法人いちごの会)

<講師>

稲葉 剛さん (一般社団法人つくろい東京ファンド 代表理事)

一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事、認定 NPO 法人ビッグイシュー基金共同代表。著書多数、近著『貧困パンデミック—寝ている「公助」を叩き起こす』明石書店

### 【ズーム de 交流会 in 全国研究大会】 1月29日(土)17:00~18:30

#### 全国の仲間とズーム de つながろう！！ ASW 協会会員限定先着100名

2020年12月から、毎月開催している当協会主催の「ズームde交流会」を全国研究大会でも開催します。コロナ禍だからこそ、会員同士の結びつきを強め、経験や知識を共有し、この困難を乗り越えましょう！オンラインでもつながれる！オンラインだからつながれる！気軽にしゃべりませんか？【参加人数に応じて、いくつかのグループに分かれます。】

用意する物

当日の飲食は自由ですので、ご自身の好きな飲み物と好きなお菓子をご用意ください。  
ただし、アルコール類はご遠慮ください。

<進行>

河佐 勉 (名古屋保護観察所)

16:50~ 受付開始

17:00~ 交流会開始

18:30 交流会終了

【分科会1】 1月30日(日)9:00~12:00 ※分科会1に参加希望の方は午後の分科会にも参加できます。

## アルコールリクス・アノニマス(AA)の歴史と現状

アルコールリクス・アノニマス(AA)がアメリカで誕生して86年、日本では46年となります。AAメンバーは、アルコールの問題で苦しみ、絶望的している人々に手を差し伸べ、回復方法だけでなく、しらふでより良く生きる希望を、アルコールの問題で苦しんでいる本人・周囲の人々のみならず、保健医療福祉関係者にも与えてくれました。

この分科会では、AAのアメリカおよび日本での歴史と現状について、話題提供者からお話しいたします。自助グループの原点であり、アルコール関連問題の解決を草の根で実践されている点でも、ASWにとっても身近な存在であるAAの歴史と現状を理解し、今後さらにより良い関係を築くための方策を考える時間にできればと考えております。

<コーディネーター>

橋本 美枝子 (大分大学) / 武輪 真吾 (特定非営利活動法人いちごの会リカバリハウスいちご尼崎)

<登壇者>

岡崎 直人さん (日本福祉教育専門学校) 『アルコールリクス・アノニマスの歴史』

菅 仁美さん (ハイゼルドン・ベティーフード財団) 『アメリカにおけるアルコールリクス・アノニマスの現状』

今井さん (AAメンバー) 『日本におけるアルコールリクス・アノニマスの現状』

【分科会2(基礎講座)】 1月30日(日)13:00~16:00

## アディクションの支援ってどうすればいいの? ~どう気づき、理解し、かかわるか? ~

この分科会ではアディクション支援の基礎知識として、アディクションの問題でのアセスメントについて学び、ソーシャルワーカーの視点を確認します。さらに、家族への支援を通してアディクションの問題に気づくポイントやかかわりについて学びます。そして、参加者の皆さんでアディクションの当事者や家族の体験を聞くことで回復する病気であるという希望を共有し、アディクションの問題がある方への支援やかかわりについて一緒に考えていきましょう。

<コーディネーター>

内藤 千昭 (西山クリニック) / 小仲 宏典 (新生会病院)

<登壇者>

マナさん (AA名古屋東グループ) 『当事者の体験談』

田中 和彦さん (日本福祉大学) 『ソーシャルワークとしてかかわること~アディクションとソーシャルワーク~』

浅井 美佐子さん (大阪府堺市東断酒会) 『家族の体験談』

山本 由紀さん (国際医療福祉大学) 『回復のキーパーソンを支援する:家族の理解と相談支援』

【分科会3】 1月30日(日)13:00~16:00

## コロナ禍で私たちに問われていること

新型コロナウイルスのパンデミックにより私たちはあらゆる影響を受けています。貧困や孤立の問題が深化し、多くの人たちの生活基盤が崩れ去り、人々の分断が進みました。生活様式や社会構造の変化に対して、ソーシャルワーク実践のあり様も変わらざるを得ない状況において、私たちは今、何を問われているのでしょうか?

分科会では話題提供者からの現場での実践報告をふまえ、コロナ禍で私たちは何を問われているのか、共に考えていきましょう。

<コーディネーター>

菰口 陽明 (呉医療センター) / 谷口 伊三美 (特定非営利活動法人いちごの会)

<登壇者>

田川 英信さん (生活保護問題対策全国会議事務局)

秋田 智佳子さん (NPO法人反貧困ネットワーク広島)

加藤 武士さん (木津川ダルク)

栗田 沙智さん (呉みどりヶ丘病院)

## 申し込みについて

<方法> Peatix(ピーティックス)でお申し込みください。

お申し込みいただいた方は、1月27日(木)までに参加URLと各種資料についてお知らせします。

※Peatix とは、Peatix Japan 株式会社が運営しているイベント管理システムです。

<期限> 2022(令和4)年1月22日(土)24時まで

URL <https://asw-zenkoku2021.peatix.com>



## 参加費について

ASW協会会員 3,000 円 / 非会員 4,000 円 / 学生 1,500 円

※Zoom de 交流会は無料(ASW協会会員のみ先着100名限定)ただし、交流会のみの参加はできません。

## 全国研究大会の参加に関する相談窓口

オンラインによる参加に苦手意識があったり、参加可能な環境になかったりする方のために、相談窓口を設置いたしますので、どうぞお気軽にご相談ください。

### 【相談対象】

- ①各支部の会員【正会員、準会員、名誉会員、入会手続き者(協会会員規約第15条)】
- ②その支部が管轄する都道府県にお住まいの非会員及び学生

### 【相談の対象範囲】

オンライン参加に苦手意識があり、参加を躊躇している方

オンライン参加が困難な状況にあるが、参加したいと考えている方

支部名	メールアドレス	支部の管轄都道府県
北海道支部	soudan-ptyou@sorachi-hp.com	北海道
東北支部	ken.s@tohokukai.com	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関東甲信越支部	takahashi.yosuke.wt@mail.hosp.go.jp	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
中部北陸支部	aswchubuhokuriku2022@gmail.com	岐阜、静岡、愛知、三重、新潟、富山、石川、福井
関西支部	asw.kansai@gmail.com	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国四国支部	aswtyuusi@aol.com	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州沖縄支部	hmieko@oita-u.ac.jp	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄



全国研究大会に関する情報は  
ASW 協会ホームページや  
全国研究大会 Facebook ページで  
随時更新中！ぜひフォローしてください。



## 大会事務局

大会事務局メールアドレス(お問い合わせはメールにてお願いいたします)

[aswonline2021@gmail.com](mailto:aswonline2021@gmail.com)

日本福祉大学福祉経営学部 田中和彦 研究室  
〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田 担当:田中 和彦